

りかけた病氣が再發したなどの例は少くない。いくら蒲團を多く着ても、その部屋の空氣が冷くても何の役にも立たぬのであるから、火鉢でも、ストーブでもたいて、よく室内の空氣をたゝめる事が必要である。但し温めるだけでは空氣が乾燥するから、洗面器の中へ水を入れて其上におき、始終空氣の中に濕氣をもつやうにせねばならぬ。さうしてもまだ空氣が乾いて苦しいから吸入をやるのである。吸入は通例百倍の食鹽水か重曹水か、或はそれを兩方混合したものをを用ゐる、三時間に一回位吸入器に附屬した杯に二杯位づゝやるのである。

我園の郊外保育に就きて

神戸幼稚園保母

佐藤 ます

ずつと重症になると以上の手當だけではとゞかなくなつてくる、平和の手段では快復がむづかしくなる。今にも陥らんとする危険を救はんが爲めに胸に芥子を塗るかまたは芥子の湯をつかはせる事がある。之れは一寸考へると殘酷のやうであるがこれによつて九死に一生を得た人が多くある。荒療治ではあるが、さういふ場合にはかはいさうだなどと云はずに、斷然敢行した方がよい、屹度助かるとは云へないが十中八九位は助かる。新しい治療法で命が助かるのであるから、試むべき場合には、必ず斷行するがよろしい。

婦人と子供第十三卷第十一號に保育と自然知識と題して當市保育會計劃の博物講習に於ける一ヶ

年間細目を記載せられてより、近來各所に於て種々の議論起れりと聞く。元より其内容の如何は知

るによしなけれども、之が爲に議論の生せんとは思ひよらざりし事なれば、其議論の内容如何に係はらず、参考のために我園に於ける實際の事を少しく左に記する事とせり。

細目は元より保母の便宜のために、作りしものにして、自然の中に幼児を置き、自然に接觸せる間に、幼兒等の旺盛なる質問に對して満足せしめ、之に適當なる誘導を與へんには、豫め先づ保母の自然物に對する確實なる智識を要する事を俟たず。是に於て、一ケ年間の動物植物礦物を季節に應じて各月に割當て實物を以て研究するに便ならしめしものにして、幼年部年長部の區別たてしは其うち長初互に適當と認めしものを區別せしものなれば、必ずしも各月細目のまゝに注入教授せんとするものにあらざるなり。

されど幼兒の發問を尊重し如何なる質問にも應ずる準備なかるべからざるを以て、九月以來尤も盛に郊外保育を實施し來りしが、幼兒を新らしき

場所に誘はんとする前日には必ず保母先づ其場所に至り動植物につきて實地研究をなし、如何なる質問にも應し得らるゝまでに努力するを以て常とせり。是れ大なる自然の中に唯遊ばしむる事は體育の上にはそれだけに最も良き方法なるも、折

角豊富なる智識を等閑にし、徒に植物を踏み躪り、小動物を虐待するに任ずは保育の道にあらざるを以て、漠然たりと見ゆる大なる自然の中に面白き自然ある事を悟らしめん爲、各組各豫め目的を定め雜草にても無意に摘みとる事を避け、或時は數札を與へ數に重きををきて採集せしむる場合あり、一種の植物の名稱を覚えしめ之を採集せしめ臺紙に貼りて保存せしむる場合あり、又は之を材料として何物をか制作せしむる場合あり、又はまゝごと材料となさしむる等あり多種類を採集して之を分類せしむる場合あり、昆蟲をとりては益蟲害蟲を致へ又名稱區別等を知らしむる事あり、或は全く自然に採集せしめ幼兒よりの質問を俟つ場

合あり、かくする時は一回より一回毎に幼児等の興味を生し採集種類の分量を増し質問の數を加ふる等著しき變化を見從て體育上の効果も増進し、家庭に於ても趣味を生じ、園外保育を喜び幼児の缺席も亦減少するに至れり。

今その實況の一例として去年十月二十四日京都より檜崎文學士の心理學講師として來神せらるゝを好機とし、大阪神戸の幼稚園主任者をも招き口一里山に全幼兒を誘ひて實施せる實況を記さん

に、其の日午前九時園庭に幼兒各々辨當を携へて整列し各受持保姆手帳に人員を控へ使丁はゴザ、茶碗等を調へ全く準備了りて一の組より順次出發す。武徳殿を過ぎて諏訪山の後にかゝれば路上の砂ほこり舞上りて衛生上甚だよろしからず直に二隊に分ちて一は妙見山に道を變ず。行く事十町餘にして山又山の坂路に達す幼兒等は更に倦怠の色なく或は唱歌を歌ひ或は道の兩側に咲亂れたる花をさしては之は菊之は秋のキリン草之はヤクシ

草之は何之は何なりとて登り行く様樂しげなり。二十町餘にして目的の地に達す。茲は一面の草原なれば各組思ひ／＼の場所を撰びて圓陣を作り座を占めて暫時休息す。かくて五六の尤も幼き組は全く自由に遊ばしめ四の組は保姆先づ犬蓼を示して其名稱を教へ各兒に云はしめ全兒名稱を覺えたる後新聞を與へて籠を摺ましめ犬蓼を採集せしめて此籠に入れ自由にまゝごと遊をなさしめたり三の組は幼兒の已に知れる草をとらしめ之を臺紙に貼らしめしに秋のキリン草、コンギク、ネズミノヲ、カハラナデシコ等の類なりき二の組は幼兒の自由に採集したる草を以て之に糸、紙、のり等を與へて何物をか製作を工夫せしめたるに又紙を以てちりとりを摺み萩、すゝきの類を雜めて糸にて括りほうきとなせるものもありリンドウ、コンギク、リユノウギク、アキノキリンソウ等重に花類をとりに臺紙に貼れるもありき。一の組は各兒に各一種の草をとらしめ之を分類せしめしに犬蓼、ワラ

ピ、ウシノケグサ、エノコログサ、ツリガネニンジン、リユノウギク、コンギク、ネヅミノヲ、エビヅル、ハギ、リンドウ、ス、キ、秋ノキリンソウ等ありて此等の名稱を幾度か全幼兒に云はしめたるに尤も多く記憶せらるゝものは犬蓼、ワラビ、エビヅル、ネヅミノヲ、エノコログサ、ウシノケグサ等にして尤も忘れ易きはコンギク、リユノウギク、リンドウ等なりきかくて思ひ／＼に遊びやがて十一時にもなりたれば元の圓陣を作りて辨當を喫し後自由に遊ばしめしに山に登る者阪をすべる者草をとる者蟲を追ふもの思ひ／＼の興を盡し午後一時歸途につけり此遊に付檜崎先生の批評の梗概を記せば左の如し。

幼稚園日記(二)

私は是等の子供を研究するのは極めて興味ある

一、體育の上より見て 幼兒を山野の清潔なる空氣中に伴ふは有効なり。

二、智育の上より見て 途中の幼兒互の談話は言語發達の上に効多く自然物の名稱を教ふるに尤も適當なり。

三、情育の上より見て 自然物に對する趣味の養成に利ありと。

右は郊外保育實況の一部を示せるものにして未だ其意を盡さず從て充分なる參考となる能はざらんも幸に同感の諸氏にして既に實行せられし所又は研究中の所感等誌上に發表せられ我保育界のため一臂の力を添へられん事を切に希望して止まざるなり。

リローン、ハーデイ女史著
田 中 生 抄 譯

事であるといふことが分りました、そして以前に